

2026.1.15 (木)
第 26 回例会
(通算3835回)

2025-2026 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」

会 長 荒井 剛
副 会 長 池田 一己
幹 事 横田 英喜
編集責任者 クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ～ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2025-2026 年度
国際ロータリーテーマ

『よいことのために 手を取りあおう』
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度
RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ
第 2500 地区ガバナー
佐渡 正幸 (釧路北 RC)

本日のプログラム 上期を振り返り下期に向けて：三役・四大委員長（理事会）

次週例会 台北中央ロータリー周年に参加して（国際奉仕委員会）

■ロータリーソング：四つのテスト ■ソングリーダー：藤井 敬亮君

■会員数 106 名

■ビジター

■ゲスト

会長の時間 荒井 剛会長



皆さま、こんにちは。今日はとても寒い日ですね。ここまで来るときに車を止める所がなかったと思います。遠い所に車を止めてここまで

来る時も寒いなと思っておりました。そんな中、お越しいただきましてありがとうございます。

最近、釧路新聞の「番茶の味」に佐々木さん、毎日楽しく読ませていただいております。

1 月 13 日は、泉先生の命日でありますけれども、もう早いもので 2 年経ちます。1 月 13 日に泉先生のところに行ってまいりました。ロータリーの上半期が無事に終わったこと、また、私自身のことですが、2026-2027 年度ガバナーノミニーに無事に就任することになりましたということを報告させていただきました。

さて、今日は、この後に上期を振り返ってということで、その時にも会長としてのお話をさせていただきますので、会長挨拶は少し短めにしたいと思います。

最近、次年度の RI 会長は、オンラインカ・ハキーム・ババロラさん、ナイジェリア出身の方なのですが、その方が会長スローガンはなくなったのですが、毎年会長のメッセージを発表すると、国際協議会で発表されたということがありました。メッセージと

しては、「持続可能なインパクトを生み出そう」なのですが、その中でこんな文章があって、私がすごい共感した所なので読み上げます。

持続可能なインパクトを生み出そうという話を聞くと、ロータリークラブが地域にどんなことをできるか、世界にどんなことをするか、どんなインパクトを与えられるかというところを思い出すのですが、オンラインカさんのメッセージの中で最後にこう書かれていました。

自分を変えられればクラブと地区を変えられます。地区を変えられれば地域社会を変えられます、と。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で持続可能なインパクトを生み出すことができるのです。

どっちが最初かという問題はあるのですが、私が受け取ったのは、自分自身が変わっていくというところがスタートにあって、そこを常にベースにして誠実に対応していくことによって、クラブも変わるし、地域も変わるし 世界も変わる。そして大きなインパクトにつながるのではないかと思います。

なんでこれに共感したのかというと、折に触れて私が言っているのですが、なぜ笑っているかという話なのです。楽しいから笑っている、幸せだから笑っているわけではなくて、笑っているから楽しいことが起きる、笑っているから幸せがやって来るのだというところ。最初に自分で動くことによって、その後で感情が付いてきたり、できることが起きてきたり、それで周りもそれに感化されるという考えを持ってやっていますの

で、その考えと R I の会長さんのメッセージがすごく共感したところでした。
会長あいさつとしては短めに、これで終わらせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。

幹事報告 横田 英喜幹事

幹事報告をさせていただきたいと思います。先週もお伝えしましたが、下期の会費の案内等を先週の金曜日に事務局のほうから郵送させていただいておりますので、早めの納入をよろしくお願いいたします。
遅くなりましたが、1月分のロータリーの友をパーソナルボックスに配布させていただいております。今月でいきますと、地区大会のポリオ・イベント・フォトコンテストで2500地区の釧路で行われた地区大会で、釧路の赤い夕日にエンドポリオの願いを込めてという幣舞橋の写真が R I 理事賞を受賞していますということが載っていますので、ご覧いただければと思います。
以上となります。

■本日のプログラム■ 上期を振り返り下期に向けて

荒井 剛会長

先ほど、横田幹事から報告のありました1月号、エンドポリオのイベントを地区大会でやった時の写真が載っているのです。26ページにあるのですが、まさに世界三大夕日の釧路の写真がきれいに載っているので、ぜひご覧になっていただければと思います。
さて、本日の上期を振り返ってですが、これはクラブ協議会のひとつとして位置付けられております。冒頭、活動計画を立てて、それに沿った活動が行われたのかどうかといった報告も兼ね、また下期に向けてこういう活動をしてみたいというところをお話させていただく場だと思っております。
まずは上期、半年間、無事にここまで来られたのも皆さまのご協力があったからだと思っております。本当にありがとうございます。
去年の7月から始まりました年度でございますが、その更に3か月前の4月から P E L S、昔は P E T S と呼ばれていたと思うのですが、会長エレクトラニングセミナーの略で P E L S だと思うのですが、それが釧路で行われ、それから6月5日クラブアッセンブリーを経て、横田幹事と八幡さんとエネルギーをチャージしにカルガリーのほうに1週間ほど遊びに行って、頑張るぞということで戻って来て、7月1日を迎えました。
7月1日から年度が始まるのですが、まさに7月1日から表敬訪問が始まりました。それが釧路東クラブでした。恒例になっていることなのですが、東クラブで出されるのは鰻なのです。表敬訪問で各クラブを回っ

て最後は北ロータリーアクトクラブでした。今回は全部を回った中で、なんと3回も鰻を食べさせていただきました。東クラブは恒例なのですが、なぜか音別さんも「鰻を出すぞ」と言って出していただきました。最後の北ロータリーアクトクラブは平澤ガバナー補佐の計らいで、もう一回鰻を出していただきました。
3週間の間に3回も鰻を食べて、ばっちり栄養を取ってスタートしたということになります。
今年度は「笑顔と誇りを胸に挑戦するロータリー」というテーマで入ることになりましたので、7月の例会も、最初にロータリーを知らないといけないということもありましたし、知らないといけないという意味は、ロータリーに近づくというよりも、ロータリーは国際組織ですので、国際ロータリーに対して物を言うためにも、国際ロータリー自体がどんな存在なのか、何をやっているのかを知らないといけないという意味で、ロータリーを知っていただきたいというところがありましたので、ミスターロータリーの小船井パストガバナーに規定審議会の話をさせていただきました。
また、挑戦という意味では、釧路の会員ですが、なかなか忙しくて釧路ロータリーの例会に出て来られなかった、共に生きる会、川湯で病院を経営されている齋藤浩記さんにも「挑戦の軌跡」というタイトルで話をさせていただきました。1年以上も前から齋藤さんにはお声掛けをして、何とか話をしてもらえませんかということで、快諾していただき来ていただきました。それが7月でした。
7月の末は中学硬式親善野球大会。数年ぶりに市民球場、今のウインドヒルひがし北海道スタジアムで行われました。市民球場でやるとなると、見ている私たちも、やっている子たちも本当に喜んでくれたと思います。
それから10月の頭に、前から実現できたらいいなと思っていたことが、和商市場の職場訪問例会でした。会員の柿田さんにも話をし、松井さんにもいろいろ協力いただきまして実現しました。私は地元が釧路じゃないので勝手井は何度も食べていたのですが、意外にも、地元の方は「初めて勝手井を食べた」という方が多かったのが印象的でした。
その後の10月の第1週では、地区補助金事業で3年目になりますけれども、小学生たちと釧路湿原の中を散策しました。胴長をはいて、土の上ではなくて湿原の上を歩く感覚。また、リアルヤチマナコでは、どれくらい深い穴があるのかを子どもたちとわいわい一緒に体験したことが非常にいい経験だったと思っております。
10月の最後は、冒頭でもお話しました地区大会が行われて、夜には大勢の方に釧路ナイトにお越しいただきました。地区大会の前日の24日がポリオデーだったので、夕日をバックにみんなが集まってドローンで

撮影しました。それが先ほど申し上げた『ロータリーの友』の1月号26ページに載っている写真です。きれいに写っていると思います。

11月末にはロータリーカップが開催されました。長年、子どもたちがアイスホッケーの練習場だったり、試合として使っていた大進スケートリンクセンターが閉鎖されたりの関係もありまして、なかなかアイスホッケーをやる場所がない中で、こういう大会が開かれるというのは、競技人口は減っているにしても、やっている子どもたちにしてみると、この大会には意味があるのだと改めて思いましたので、非常にいい事業に関わっていることを実感しました。

また、恒例の台北中央ロータリークラブ、去年は40周年の記念大会に大勢の方と一緒に参加させていただきました。みんなできつねダンスを踊って楽しい時間を過ごすことになりました。

最後はクリスマス例会、大勢の家族の方に来ていただきました。来られなかった人も含めて、日頃の感謝をさせていただきました。そこでも、踊りをしながら楽しい思いをさせていただきました。

この上期、常に例会を終えると日理副幹事がFacebookで横田幹事をいじりながらのネタをさっそくすぐに投稿していただいて、このFacebookは見られているのです。うちのクラブの会員以外の方も結構見ていただいています。私の知り合いの方も見ていただいて、「楽しみに見ている。必ず横田幹事のいじりを見ている」と言われていますので、ぜひ下期もよろしくお願いします。本当に楽しみにしている方が多いので、私自身も嬉しく思っております。

私、横田幹事、池田副会長はご存じのとおり全く飲めない3人ですので、親睦委員会でも配慮していただいて、夜間例会の時にはコーラで乾杯というような試みもあったと思います。その後も夜間例会の時にコーラが置かれていて、そういった配慮もしていただいております。本当にありがたいなと思っております。

そうこうしているうちにあっという間に半年が経って、1月を迎えて残りの半年、大きな事業は確かに上期にいろいろあったのですが、下期として、ひとつやりたいなと思っていて進行中のものとしては、私自身が長年関わっているグローバル補助金の関係があります。グローバル補助金としては今年もタイのほうで行う予定になっているのですが、ひとつ違うのは、帯広西クラブさんが「これまでやったことがないので、ぜひ一緒にやらせてもらいたい」ということで、帯広西クラブの方からも先日の例会に来ていただいて、お話をさせていただきました。帯広西さんと一緒に今、ひとつ事業を進めているところでもあります。それがなんとか下期の間に実現できればなと思っております。そして、下期も一生懸命やって、90周年に向けて工藤エレクト、その先の樋口ノミニーのほうに無事にタ

スキをつないでいければと思っておりますので、下期についても、どうぞよろしくお願い申し上げます。以上です。

クラブ運営委員会 佐藤 貴之委員長



皆さん、こんにちは。クラブ運営委員会の佐藤でございます。

まず、上半期を振り返ってということでございます。私たちの

の委員会は、出席委員会、プログラム委員会、親睦委員会の参加で動いているのですが、上期にしましては委員長さん、委員会メンバーの皆さんが頑張っていて活動していただいて、つつがなく円滑に進んだのかなというのが印象でございます。

今日、いらっしゃる藤井プログラム委員会だけが私に「佐藤さん、ここどうしたらいいですか」とか、唯一相談してくれる委員長でございます。残りの委員長が悪いというわけではなくて、水口出席委員長は何回も経験しているので、全部を自分でできてしまう。中島親睦委員長は幹事経験者ですので、もう黙っていてもやってくれるという方です。藤井さんだけ唯一、私に気を使っているのかかもしれないのですが、相談していただけています。ただ、藤井さんに関しても「大丈夫ですか」と私も声をかけるのですが、黙っていてもどんどんどんどん決まっていきます。プログラム委員会というのは、例年、講師の都合でちょっと予定が変わるとか、年間予定を作っているもののクラブの行事によって左右されたりすることがあって、そこだけ、プログラム委員長の力量というかスキルが求められるところなのですが、藤井委員長に関しては、自分でものすごく強力なお祓いをしているのかなというぐらいです。

来月も急に予定が変わったのですが、皆さんの協力があって、急に助け舟がパッと入りました。この人は、持っているなという感じです。

下期に関しましても無事に進んでいくのではないかなと思っております。なので、下期に関しましても皆さま、クラブ運営にご協力をよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

クラブ広報・会員組織委員会 土橋 賢一副委員長



皆さん、こんにちは。本日、石井委員長は出張のため出席できませんが、メッセージをお預かりしていますので代読を

させていただきます。

八幡委員長率いるクラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会では、例会での写真撮影や例会記録のチェック、ホームページへの例会報告など遅延のない対応で上期を終えることができました。下期も同様にホームページでの情報発信をタイムリーに行っていきたいと思えます。八幡委員長のご尽力に感謝申し上げます。

小野寺委員長率いる会員増強・選考・職業分類委員会では、目標を掲げた会員増強が一番の使命でもあり、現在も引き続き候補者の選定や声掛けを実行中です。なかなか目標どおりに会員増強は進んでいない状況ではございますが、下期も引き続き候補者リストの作成と会員同士の情報共有、そして入会への声掛けを行っていききたいと思いますので、小野寺委員長、よろしくお願いいたします。

滝越委員長率いるクラブ研修委員会では、新入会員歓迎会と情報集会の実施を行ってまいりました。下期も同様に2回目の新入会員歓迎会と情報集会を予定しております。

また、新入会員へのオリエンテーションも委員会の中で担当いただいております。下期も多くの新入会員が生まれることを願いつつ、滝越委員長、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、下期も心強い3名の委員長とともに広報・研修活動、そして会員増強に務めてまいりますので会員皆さまのご協力を心よりお願い申し上げます。

委員長 石井 孝行

3回、練習したのですが、やっぱり活舌が悪く申し訳ございません。

奉仕プロジェクト委員会 松井 聖治委員長



奉仕プロジェクト委員会・松井でございます。クラブ協議会に属しているということで真面目にメモを書いてきましたので、笑いもなく真

剣に発表させていただきたいと思えます。だいたいのことは会長に言われてしまいましたので、短めにやって行きたいと思えます。

社会奉仕委員会・得地委員長ですが、先ほどもありましたけど10月4、5日に「湿原の魅力を知る」ということで学びのツアーをやっていたいております。これは継続事業で、地区の補助金を活用した事業ということで、これの報告例会を10月23日に猛禽類副代表の渡邊さんを招いて報告例会を実施しております。

続いて、職業奉仕委員会・残間委員長です。上期に

おいては10月2日に職場訪問例会ということで和商のほうに行っております。先ほどもありましたけど、半数くらいが「勝手丼を食べたことがない」ということで、僕も初めて勝手丼を食べさせていただきました。たぶん、僕が入ってからは経験がないと思うのですが、お弁当以外の昼食を食べさせていただいた珍しい例会と思っております。

また、下期においては、2月26日に2回目の職場訪問例会、こちらはNHKさんに伺いたいと思っておりますので、ただいま絶賛、調整中でございます。決まりましたらご案内をさせていただきますので、ぜひご参加をよろしくお願いいたします。

続いて、国際奉仕委員会・東堂委員長です。これも11月29から2日まで台北中央の創立40周年に参加をしております。

下期においては、6月13から17日でロータリー国際大会が台北で行われますけど、こちらが残っておりますので、ぜひ参加いただける方は参加をお願いしたいと思います。

これは台北中央ロータリーの今年度の釧路クラブの出し物でキツネダンスをやっていたのですけれど、ビデオでしか見ていないのですけれど、甲賀さんの奥さんを中心に素晴らしいダンスをしていたのですが、一番端で横田幹事が耳を付けて踊っていたのですが、普通の恰好をしているのに着ぐるみを着ているみたいで、とてもかわいい感じで夢に出そうな感じでした。

続いて、青少年奉仕委員会・岩田委員長です。本当に年度当初から忙しい委員会です。上期においては、8月2、3日に中学親善硬式野球大会を市民球場でやっております。先ほど、会長からもありましたけれど、市民球場でやると、そこでやっているだけで絵になりますし、ほかの所から来ている子どもたちにも、せっかくやるのだったら市民球場でやらせてあげたいと強く思った次第であります。その報告例会を8月21日に実施しております。

そして、11月29、30日に第9回目の東北北海道アイスホッケー大会、並びに32回目のロータリーカップを実施しております、12月18日に報告例会となっております。

下期に関しては、5月16、17日にライラセミナーが残っております。今年は釧路で行われますので、これの報告例会を5月21日に予定をしております。

先ほどもありましたが、年度当初の8月の頭に野球大会があるわけですが、これが、市民球場の予約が難しく、年度が始まってからでは間に合わないという状態なのですね。年度当初の事業というのは、その前の年で場所の予約をしてあげる流れを作っていたらなと思えますので来年度の幹事がいらっしゃると思いますが、しっかり引き継いでいただいて、今年度で場所を予約して、来年度で実施をするという流

れができると、この後もずっと市民球場でできると
思います。何年かやると実績みたいのができて予約も
しやすくなると思います。いまは結構、予約するのが
難しい状態です。ロータリーでやっていると言っても
あまり受け付けてもらえないというところです。今年
度も横田幹事に頑張ってもらっていて、来年度の予約を
とっていただきました。

来年度の中学親善硬式野球大会は8月1、2日で市民
球場の予約ができております。ぜひ、その後も引き続
き、市民球場で子どもたちに野球をやらせてあげられ
たらと思っておりますのでしっかり引き継いでやって
いただけたらと思っております。

以上でございます。下期も頑張ってまいりますので、
改めて引き続きのご協力をよろしく願いいたしま
す。

ロータリー財団・奨学推進委員会 舟木 博委員長



皆さん、こんにち
は。ちょっと声が出
なくて聞きづらいと
思いますがご容赦く
ださい。

当委員会の大委員
長としてお話をとい
うことなので少し話させていただきたいと思います。
紋切り型の話ではあまり面白くないので、少し面白く
話します。

当委員会は、ロータリー財団寄付推進委員会で6名、
米山記念奨学会委員会で6名、嵯峨記念育英会委員
会が6名、計18名と大・副の2名の20名のメンバー
で構成されている委員会です。

中身は、と言いますと、会長経験者が6名、例会で
たまに見る人が10名、ほとんど見たことのない人が
5、6名の中で立派に委員会活動を行っております。

実は私、ロータリーを20数年やっておりますが、
当委員会は初めての配属でした。去年、荒井会長から
委員長をお願いされましたので、会長の時に幹事をし

ていただいた恩に義理返しに「なんでもします。委員
会のメンバーもすべて文句は言いませんので、本年度
のロータリー活動に参加します」というわけで大委員
長をお受けしていました。

これから受ける皆さん、安心してお受けください。

上期の活動報告でございます。昨年の10月、第三
例会は米山委員会が担当しました。内容としては
2500地区の委員長による地区米山奨学会の活動報告
でした。釧路では長い間、受け入れをしておりません
ので次年度以降はぜひ受け入れるように願っておりま
す。

また、11月の第一例会は米山が担当で行われまし
た。荒井会長による釧路ロータリークラブの過去の
マーチングランド、それからグローバルグランドの話
を行いましたので、会長自らメンバーに内容をかみ砕
いて説明いたしました。残念ながら、時間が足りない
くらい良い内容でした。

私も数回にわたって海外に教育図書、清潔で安全な
飲料水、医療機器等の支援活動に参加して、内外の友
人を得ることができました。タイで知り合った徳島の
メンバーは、荒井会長と同期のガバナーになることが
決まったので喜んでおります。

彼とは土橋君とともに去年の春のお遍路で精進明け
の最後の料理を徳島でごちそうになりました。彼は証
券屋さんなので大変美味しい情報を教えていただきま
した。ちなみにみに、土橋君はその株を始めたとい
うことです。なんぼ儲かったかは本人から聞いてくださ
い。

そんなわけで、皆さんもロータリー活動の海外活動
に参加することにより、多くの有益な友人を得ること
ができますので、できるだけ参加されることをお勧め
いたします。

以上です。

本日のニコニコ献金

■工藤 彦夫君 古希のお祝い頂きました。ありがとうございます。

■後藤 公貴君 ろばた鱈は創業50周年を迎えました。これからも頑張ります。

今年度累計 372,420 円